大阪砲兵工廠の職工[illegible]動揺

向上會の幹部馘首から

やがて來る大淘汰を豫期し 退職を申し出づる者相踵ぐ

大阪砲兵工廠の向上會幹部中村[illegible]の行動があつ[illegible]工場當局[illegible]職工二十五名も[illegible]の行動があつたので馘首に處せられたので[illegible]退職を申し出したが砲兵工廠[illegible]であるので[illegible]を協議するため二十三日午後八時から大阪市東區島町一丁目受念寺で向上會臨時總會を開いたが目下上京中の八木向上會長は二十四日歸阪する旨の通知があつたので八木會長の歸來を待つて今後の方針を協議する筈であるが多少の動揺は免れない向は豫てから官業[illegible]を掲げつゝある砲兵工廠では職工の淘汰は早晩行はるゝが○此際退職を申し出づるものに對しては三月三十一日までの勤務者と見なし四月一日付を以て解職と同時に規定の手當を支給するから退職の希望者は任意に申出てよと通告したのに對し早晩大淘汰を行はるゝ事を豫想せるもの[illegible]て退職を申出づるものが續出して廿三日まで既に二百三十二名の退職申込者があつた(大阪)

今後四ケ月間は断じて馘首せぬ

官業職工の膝詰談判に 吉田兵器局長が言明す

本日午前十一時官業勞働代表として大阪[illegible]の八木、日本勞働聯盟の安達、小石川勞働會の芳川、工友會の横田等諸氏は陸軍省に於て伊藤、仙波兩中佐久保田大尉等立會の上吉田兵器局長と會見し、(一)失業者に對し二箇年退職手當を給する件(二)陸軍職工規則改正の件(三)大阪向上會員馘首の件等につき陸軍側の回答を求めた陸軍省の意嚮を代表して吉田局長は第一に對しては目下調査中に付即答する能はず但し今後四ケ月間は決して失業者を出ださず其後も出來得るだけ出さぬつもりだが萬止むを得ざる場合は相當の手當を給し解職する筈である第二は獨り陸軍のみならず官業一般に關する事だから目下調査中である第三は未だ正式の報告に接して居ないから如何なる處置するか答辯の限りで無いとの回答を與へ會見約三十分餘にして代者は退出した

官業勞働代表の凄い捨台詞

陸海軍兩省の返答に[illegible]を表明

二十三日午前十一時官業勞働代表として大阪の広永、仁科、八木の諸氏名古屋の西浦氏東京の吉川、安達氏等十二名は陸軍省に兵器局長吉田砲兵少將を訪ねて懇談した

陸軍側は 同局長以下工政課から伊東中佐久保大尉及新聞班の仙波中佐の四名がこれに對してどこまでも同情あることを言明しつゝ極めて穏健にこれに接したがなんにせよ勞働代表側は必死の場合とてともすると激昂をして卓を叩かんず有樣である結局局長の責任ある答辯として「今後四ケ月位の間は断じて **解雇職工** を出さぬ、要求された職工規則の改正は一年の後ならでは決定を見ぬ」といふことにおさまり十二時半辭して去つた午後は幹部会を開いて後小石川の[illegible]會館か飛鳥山かのどちらかで職工の踊りぎはに **報告演説** をやる筈であるが何れも「まづ失敗だ愈々爭議だ」と口々にすごい捨臺詞を殘して引揚げた

赤の三角旗打振り女工達も加はる

大阪の官業勞働示威

決議文を携へ八木氏早刻東上

「官業勞働總同盟が玉砕を決意しての最後の示威運動、本日の春季皇靈祭を期して全國七萬の官業勞働者は一齊に起つたが大阪砲兵工廠の向上會員一萬人は午前十時中之島公園音樂堂を中心に集合し勞働歌やデカンショ節に氣勢を擧げ午後零時十分總司令の八木會長を先頭に音樂隊二組で景氣を添へつゝ出發、例に依つて長旗數十旒と會員は手に手に赤の

三角旗 を打振り被服支廠の女工連が人目を惹く、斯くて烈風を衝きつゝ横堀線を南へ蜿蜒と行進して二時天王寺公園に入り音樂堂附近に於て大會の形式の下に集合し八木會長は左の決議文を朗讀するや萬雷の如き拍手が起つた、八木、廣永正副會長は之を携へて直ちに上京し、會員一同は天王寺驛迄見送つた

決議

一、政府は軍縮に依る失業者の救濟具體案を速に發表すべし

一、政府は時代遅れの陸軍職工規則を速かに改正すべし

東京は飛鳥山にて

案外氣勢揚らず

軍備縮小から來た失業者救濟の爲め東京の日本勞働總同盟の主催で本日正午から花には未だ早い飛鳥山で示威運動を行つたが集まつたものは僅かに百數十名で失業者を救濟せよとか失業手當二箇年分を給せよ等と大書した大旗が春風に飜るのみで一向氣勢が揚らず例の如く勞働歌の合唱や演説があつて午後四時無事散會した明日は加藤海相を訪問する豫定である(東京電話)

名古屋でも

示威行列擧行

名古屋向上會支部にては各地官業勞働者の示威運動と相呼應して廿一日午前十時名古屋市熱田高倉神社停留所附近に會員二千名參集し西浦支部長指揮者となり全市に示威行列を行ひたり因に西浦支部長は行列を終つて特に上京し八木會長と共に陸海軍大臣を訪ひ同旨の主旨を述べ其達成を期する由(名古屋電話)